

セックスウォーズ

2002年ムービー
原作・脚本・監督 伊勢鱗太郎
出演 及川奈央 / 渡瀬晶 /
西村萌 / 林由美香 /
中村京子



B Bシーンのあるアダルトビデオというのは、なかなか希少価値があります。最近ではB Bマニア向けのビデオも多数現れるようになりましたが、一般的なポルノ作品においては、男性の性的能力を奪いかねないB Bは、その基本的なコンセプトとは相反するものであることは、ちよつと考えれば理解できます。

私の知る限りでは、中野貴雄氏の女闘美と銘打ったキャットファイトが売り物のシリーズに若干B Bが含まれていました。それから、シリーズ名は忘れましたが、銀玉で悪党の金玉を砕いて仕置きする女仕置き人が主人公のシリーズがありました。

今回取り上げる『セックス・ウォーズ』は、黒いレザーのハイレグのコスチュームに身を固めた(さらした?)女戦士三人が、外国の手先となつて悪事を働く秘密結社と闘う筋立てです。二時間テープの2本組(計4時間!)の超大作。その大部分は秘密結社の男たちが女性を強姦したり、女戦士が同僚の男性たちとまぐわう場面です。主役の及川奈央というひとは初めて見ましたけれど、スレンダーなボディとかたちのいい胸、女猫を思わせるワイルドな風貌、芝居もそこそこはできるようで、セクシーアクションものにはぴったりの女優です。

で、このビデオには三カ所、B Bシーンが登場します。二カ所はとりたてて言うほどのもので

はありません。私が気に入ったのは後半、悪の秘密結社に誘拐された高級官僚の妻を救出すべく敵のアジトに潜入した及川嬢が、敵に捕まってしまう場面です。

性交シーンが売り物のビデオですから、当然、女戦士は敵に強姦されなければなりません。及川嬢は、鉄格子のはいった監禁部屋で、二人の悪人にレイプされます。黒レザーのコスチュームの胸と股間の部分をはぎとられ、精液を飲まされ、四つんばいで犯され……といったシーンが延々20分くらい続く。

やがて、満足した二人の悪人のうち一人は出かけてしまい、ちよつと頭の足りない男とふたりつきりになった及川嬢、好機到来とばかり、喉が乾いた、と誘うような表情と仕種で水を所望。男が湯飲みを運んでくるなり、いきなり喉首をしめあげて壁に押しつけ、二度の股間蹴り。

監禁部屋の隅っここの段ボール箱に入れられていた高級官僚の夫人をぶじ救出して脱出するわけです。

通常、ポルノ作品は、女性に対する男性の優越性が誇示されます。登場する男性はたいい見事な性的テクニクの持ち主で、指先ひとつで女性を狂わせ、思い通りの行為をさせる。女性は、男性の性的欲望を満たす服従的なポジションをとられる、少なくとも、そんな幻想を男性に与える演出がほとんどです。

ある外国のポルノ女優が、日本のアダルトビデオを見て、あんなに女性がよがって大声出すわ

けないじゃない、と批判していましたけれど、たしかに行為の最中にも余裕たっぷりの笑顔を浮かべることもあるいわゆる洋ピンの女優に比べて、日本のアダルトビデオの女優は、ときおり男優のジョークに笑う程度で、あとはいかにも自分は男優の素晴らしいテクニクで性の快楽に溺れさせられていますと言わんばかりの芝居をつづけていることが多い。

悪人に股間を押しつけられ、苦しげに喘ぎつつもその男根に奉仕する及川奈央嬢は、ときおり男を憎悪のこもった眼差しでにらみつけますが、それでも四つんばいにさせられて挿入された時は、身を震わせ大声をあげてよがる。強姦という屈辱を感じつつも、男の技巧の前に快楽にひれふしてしまう、そんな演出です。

その彼女が、敵の股間を蹴り上げることによって、立場は逆転する。男は一撃目で苦痛に体を折り曲げ、二撃目で床にくずおれる。ほこらしげに彼女を思いのままあやつっていた彼の性器は、逆に女にひれふす急所でもある。

実を言いますと、この時の股間蹴りは、みぞおちに命中しているように見えなくてもないんですが、やはり女性にはない睾丸という急所への痛撃によって一瞬にして上下関係が逆転してしまうからこそ、この場面が刺激的なんですね。

肉体を鍛え上げた女優が、ワイヤーアクションを駆使した華麗な演出で男を叩きのめす最近のハリウッドの女性アクション映画のつまらなさは、まさに彼女らが、女の仮面をかぶった疑似男

性にさせられているからだと思えます。肉体的なハンデを背負った女性が、睾丸という急所の存在によって男性を凌駕することもあるからこそ、女性アクション独自のセクシャリテイが発揮されるのだと私は信じています。

その意味で、官能的な肉体を持ち、その官能性によって男性に従属させられかねない弱さを抱えた女戦士が男どもをなぎ倒して行くこの大作アダルトビデオは、いかにそのアクションが貧弱であっても、女性アクションのツボを十分に押さえた傑作だと私が考えるゆえんであります。